

6月21日、第一回西支部定例会が広島市総合福祉センターで行われ、参加者は18名でした。今回の定例会は「研究成果発表」と題して、昨年の日本社会福祉士会全国大会山口大会と今年度の茨城大会で発表された内容を3名の会員から発表して頂きました。

発表テーマは以下の通りです。

- ① 特別養護老人ホームでの終末期における社会福祉士の支援について
山本 悠策会員（特別養護老人ホーム白滝園）
- ② 高齢者虐待防止のための養護者支援について
～虐待対応から「男性介護者の集い」立ち上げの提言とその効果の分析～
吉田 隆宏会員（広島市城山・五日市観音地域包括支援センター）
- ③ 介護職員の就労前の経験の違いと就労継続意向の強さに関する研究
～量的分析によるアプローチ～
三山 亮会員（特定非営利活動法人 FOOT&WORK）



いずれの発表内容とも、社会福祉士としてソーシャルワーク実践の大切さを主軸とした研究成果発表でした。発表に続いて参加した会員間の意見交換、多種多様な現場の声から、新たな気づきや情報共有が図られ有意義な時間となりました。

【次回の定例会の予定】

日時：8月9日（金） 19時～21時

場所：広島総合福祉センター 5階 会議室

テーマ：基礎研修Ⅰ 対応研修 「他領域（所属組織以外）のソーシャルワーク実践について学ぶ」

【内容】 1. 更生保護 講師：河口 幸貴氏

2. 教育分野 講師：河野 喬氏